

| (様式2) 学校関係者評価報告書 | | | |
|---|--------|---|----|
| | | (新居浜特別支援学校みしま分校) | |
| | | 学校番号 (54) | |
| 評価実施日 | | 令和 7年 2月 14日 (金) | |
| 委員 | 氏名 | 所属等 | 備考 |
| | 戸田 克明 | 三島公民館長 | |
| | 高橋 仁 | 三島小学校長 | |
| | 合田 真由美 | 相談支援専門員連絡会会長 | |
| | 岩本 知香 | PTA会長 | |
| | 津村 友美 | PTA副会長 | |
| | 三好 敏文 | PTA副会長 | |
| 評価・提言等 | | 提言等に対する改善方策等 | |
| <p>1 今年度の最終評価について</p> <p>(1) 学習指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個に寄り添った温かい支援や指導が日頃から行われている。 ・一人一人の特性に合わせて目標や授業のねらいを定め、ICT機器等を活用した充実した内容の指導が行われている。 ・学習で学んだことを生活の中で自分から取り組んでみようという行動に移すこともできている。 ・これからも児童生徒一人一人が学習や生活の仕方等を見につけられるよう各自のペースに合わせて取り組んでほしい。 <p>(2) 特別活動・生徒指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・係活動をすることが、本人のやる気にもつながっている。 ・自立に向けて、意欲を高めながら今できることに対応している。 ・子供の障がいの状態や特性に応じた活動の種類、時期、実施方法が工夫され、適正に配慮した環境の取組が行えている。 ・運動会や校外学習等、児童生徒が楽しみにしている。体験活動を通して自信にもつながり、多くの学びになっている。 ・体験活動を重視した授業・交流を通しての人格形成が多く見られた。今後も三島小学校との交流を始め、地域の行事にも参加していってほしい。 <p>(3) キャリア教育・進路指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技能を見につけたり、それを高めたりする機会が多く設定されている。 ・発達段階に応じたキャリア教育を行い、将来に向けて生活に必要なこと、自分に向いていることを伸ばす指導を行っている。 ・小学部低学年の段階から苦手なことや困ったときにどうすればよいかなど、自己発信する力を身に付けていってほしい。 <p>(4) 健康・安全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体力づくりでは、よく走っており、心と体の成長を感じる。 ・学校で教育活動を行う基礎としてまずは安全第一であることが大切である。 ・子供の健康状態に気を配り、感染症対策として手洗い等正しい生活習慣を身に付けるとともに、避難訓練等基本的な安全教育が行われている。無告知の訓練を行うなど、今後も災害に備えた訓練を実施してほしい。 <p>(5) 研修・センター的機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スキルアップに向けた研修を行っている。信頼できる場所・先生として安心できる学校の場になっている。 ・実践力向上のため校内研修に参加し授業の改善に取り組むとともに、専門性の向上を図っている。 ・相談対応、助言や研修講師、施設の見学説明等、センター的機能を十分発揮している。 ・今後もケースに応じて相談、支援会議の実施等、学校と連携して支援していきたい。 <p>(6) 学校運営・PTA活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「にこにこわくわく」の合言葉を大切にしなが、教育目標の達成に向けて確実に取り組んでいる。 ・PTA活動を通して保護者間の交流もでき、保護者間の距離が縮まったと思う。また、事業所等見学に先生や保護者と一緒に行くことで、楽しい学びの場となった。 ・PTA理事と連携を密にし、三島小学校とも協力し合い、ホームページやPTA通信を利用して情報発信に努めている。 | | <ul style="list-style-type: none"> ・今後も個々に応じてきめ細やかな指導・支援の充実に努めるとともに、ICT機器を効果的に活用しながら分かる・楽しむ授業を実践していく。 ・係活動や児童生徒会活動など、今後も児童生徒一人一人が意欲的に行えるよう工夫していく。 ・三島小学校や地域の学校との交流や校外学習や作品の展覧など地域とのつながりを大切にしなが、体験的な学習に努める。 ・「キャリア教育は学校生活全般で実践するもの」であることを教職員で共通理解し、早期からのキャリア教育を実践する。 ・今後も体力の向上や望ましい生活習慣や感染予防行動を身に付けられるよう、集団指導、個別の支援を継続する。 ・避難訓練や交通安全教室の実施方法を工夫するとともに、学校生活が安全に行われるよう、発達段階に応じた日々の安全教育にも努める。 ・研修や授業参観を効果的に実施し、教員の授業力や専門性の向上に努める。 ・地域からの教育相談、研修依頼に柔軟かつ丁寧に対応し、地域の特別支援教育の充実に努める。 ・今後もPTA活動が充実し、保護者が参加しやすい・参加したい活動になるよう、PTA理事を中心に計画・運営していく。 ・三島小学校とも連携を図りながら、児童生徒一人一人のニーズに応じた教育を行い、適宜情報発信にも努める。 ・今後も評価委員の方々に分かりやすいよう、評価委員会の運営を行う。 ・学校評価アンケート結果や学校評価委員会でいただいた御意見・御提言を基に地域とのつながりを大切にし、地域に根差したよりよい学校運営に努める。 ・年度当初に文書で保護者へお知らせをしているが、十分に伝わっていないため、配付文書に加えて保護者へ報告する機会を設けたり、適宜HPに掲載したりして保護者への周知に努める。 ・要望について、関係各所で情報共有していく。 | |
| <p>2 学校運営への提言</p> <p>(1) 評価委員会の資料、スライドを用いた説明が丁寧で分かりやすく会議の運営がしっかりされている。</p> <p>(2) 学校評価の肯定率が大変高く、保護者からの信頼も絶大である。これまでの取組をさらに充実させ、三島小学校、三島公民館、地域住民の方々と連携し、地域に根差した分校として地元の活動に溶け込んだますます素晴らしい学校となることを願っている。</p> <p>(3) 災害時の備蓄品について知らない保護者も多いため、学校の備蓄品や各自で用意する備蓄品について知らせてほしい。</p> <p>(4) 高等部の設置を要望する。</p> | | | |